教科名	地歴	科目	世界史演習（進学）	週授業時間	3

１．教科書および副教材・参考書

教科書：『詳説世界史探究』（山川出版社）

資料集：『最新世界史図説タペストリー』（帝国書院）

用語集：『世界史用語集』（山川出版社）

問題集：『世界史マスター問題集』（山川出版社）

問題集：『世界史一問一答』（山川出版社）

問題集：『共通テスト実力トレーニング世界史』（啓隆社）

２．授業の目標および内容

世界史演習では、問題演習及び歴史総合範囲の対策を中心に行います。特に日本大学基礎学力到達度テスト・大学入学共通テスト・ＧＭＡＲＣＨレベルの私大で高得点を取れるように、過去に出た問題や予想問題などに取り組みます。近年の大学入試は単なる一問一答形式ではなく、複数の資料を読み取った上で解く問題が出題される傾向にあります。授業においても、資料の読み取り方を含めた問題の解き方を学んでいきます。

３．試験について

	1学期		2学期	
定期試験	一次　5月	二次　7月	一次　10月	二次　12月
学力試験	第1回　6月		第2回　9月	

内容・難易度について

① 定期試験：100点満点で出題

問題演習を中心とした講義なので、教科書のページではかなりの広範囲になります。レベルも基礎から応用まで多岐にわたります。

② 学力試験：選択・演習で50点ずつ、合計100点で出題。

入試を意識して、基礎学力到達度テストから大学入試共通テストに準じた問題を実施します。

４．課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

５．評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点（提出物、小テストの結果、学力テストの結果、授業態度など）を含め、総合的に評価点を算出します。

授業計画

学期	単　　元	学　習　内　容	備　考
1	基礎学力到達度テスト 対策演習 歴史総合対策演習	・先史 ・古代西洋史 ・中世東洋史 ・近世東洋史 ・近代東洋史 ・中世西洋史 ・近世西洋史 ・近代西洋史 ・近代化 ・大衆化 ・グローバル化	ＩＣＴを活用し、一方的な講義ではなく、双方向的な授業にする。 ※進度によっては通史を扱う場合あり
2	総合演習	・共通テスト対策演習 ・私大過去問演習	※進度によっては通史を扱う場合あり